やぶなべ会報

自然を見つめる「やぶなべ会」（青森）発行

誌　　名	やぶなべ会報
号/発行年/頁	25 / 2009 / 47
タイトル	天田内川のサケ今年は遡上しなかった(2008 年の記録)
著　者　名	五十嵐豊

天田内川のサケ今年は遡上しなかった　(2008年の記録)

第６代　五 十 嵐　豊

2004(平成16)年の大量の遡上から昨年(2007年)まで、連続して遡上の見られた天田内川のサケが今年(2008年)は遡上しなかった。この4年間早い年は10月9日(2005年)、遅い年で10月30日(2007年)が初見日だったので、今年も10月から気を付けていたが、11月に入っても1匹も見られず、とうとう12月になったが未だに遡上していない。

もともと天田内川は稚魚の放流もなく、ましてや自然産卵も考えられない川なので、これまでの遡上も、陸奥湾に入ったサケが迷って来たものだろうと思っていた。しかし、2004年の数千匹の遡上から年々減少(昨年は100匹前後)したものの、4年も続けば今年もと期待するのは当然だろうし、期待を裏切るのが自然現象の面白さなのだろう。

4年も続けば期待する人も多く、「今年はどうしたんだろう」、「川が汚くなったからだ」、「刺し網をかけて取っている」など話が聞こえる。原因はいろいろあるだろうが、最も考えられることは陸奥湾に入ったサケの数だと思う。数が少なければ迷うサケも少ないだろうから。陸奥湾のサケが少なかっただろう原因はまた、いろいろあるだろう。

川の改修は遅々として進んでいる。今年は橋の改修だけらしい。サケは来年は来るだろうか、期待して待ちたい。　(2008.12.1記)